

取組名称	市民参加プラットフォーム・巻con.			団体設立後の経過年数	2年
応募取組主体名称	巻con.	活動地域	宮城県石巻市	応募取組の活動年数	5年
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨

環境教育とSDGsをコンセプトに大谷地小学校で継続されている「つなぐ・つながる」プロジェクトを出発点とし、開北小学校、石巻専修大学との連携を深めることで見えて来た“垣根を越えた協働”の大切さに沿って、行政（石巻市SDG移住定住推進課）や地域自治会、NPOなどの民間団体との実働体として活動。教育現場や地域コミュニティが行政と共に課題を共有し、縦割りでは成し得ることが難しかった複合的な活動を展開。市民が様々な入口から「環境保全」「防災学習」「国際協力」に活発に参加できるプラットフォームを形成している。

実績の要旨

巻con.のプラットフォームとしての機能から、これまで学校内やNPO等の独自活動領域が行政や地域自治会との連携が活性化されている。環境教育現場へのNPOや行政からの講師派遣や協働イベントの展開、地域・海岸清掃や資源循環活動など、巻con.の存在によって点が線となり面となって、相互間の特性(得意分野)を持ち寄り、厚みとやり甲斐のある立体的な市民活動を後押ししている。

取組評価の要旨	環境への貢献	洗剤等の詰替え容器の回収を通して、資源循環型社会の重要性を考えプラスチックのリサイクルと再生に関わる啓発活動を全市で推進している。
	社会・経済への貢献	それぞれの取組みは石巻市環境基本計画における「生物多様性地域戦略」とも関連しており、活動を通じて市民への情報発信に寄与している。
	地域資源の活用	北上川のヨシを活用した紙すきをし、その紙を利用してカレンダーを製作している。売上は紛争地域の子供たちの支援に活用されている。
	普及・汎用性	学校での取組も地域に活発に発信されるようになり、メディア等でも紹介。行政イベント等との協働により、市民間の認知度の向上を得ている。
	革新・ユニーク性	学校、行政、NPO、自治会、事業者が垣根を越えて課題とビジョンを共有する事で、参加（協働）者のすそ野が広がり、全市的な活動を醸成している。
	継続性	属性や縦割り構造を越えた実働体としてのつながりは活動を続けるほどに大きくなり、参加(協働)者、支援者の輪が広がり続けている。

展望の要旨

「環境保全」は現代社会に於いて核心的な共通項で有ることが確認され、それを軸にすることにより、多方面で活動する実践者の協働体が構築される。